

かごしま

あいら

市議会だより

No.31 6月定例会 平成30年8月31日発行

特集 熱い議論を伝えます 3

補正 身近な事業をピックアップ 6

報告 審査の進化 予算特別委員会 8

一般質問 21人が市政を問う 12

追跡 あん質問な いけんかった 23



▲漆小学校の児童による初泳ぎ（重富海水浴場海開きより）

始良市はどこへ

新市長の考えを問う

市議会議員選挙・市長選挙後、初の本格的な議会（6月議会）が開催されました。

二元代表制の一翼を担う市議会は新市長の施政方針を受け、始良市がどこへ進んでいくのか。新市長の考えを問う議論が多く交わされました。

今後とも、市民から負託を受けた議会は、改選を機に、新たな市政の幕開けと捉え、市民福祉の増進に向け努力を重ねてまいります。

● 6月議会（第2回定例会）

〔会期〕

6月13日～7月13日

31日間

〔議案〕

議案……………12件

請願……………1件

発議……………2件



全ての議案と採決結果は、始良市ホームページをご覧ください。



補正予算

複合新庁舎建設事業

123万円

市民の庁舎建設に対する関心を高めるための事業です。
 主なものは、小中学生を対象とした絵画コンクールを開催するための経費9万円。
 市民説明会の経費として会場使用料3万円。
 事業概要を市民に説明するために全戸配布するリーフレットの印刷製本費75万円です。

特集!!

～熱い議論を伝えます～

議会は、市民の皆さんが関心の高い事業に対して、どのような議論を行ったのか？

質疑、一般質問、議員問討議で熱く議論が交わされた3項目をピックアップして、お伝えいたします。

- 複合新庁舎建設
- フットボールセンター
- 公立大学法人短期大学

どうなる？ 複合新庁舎 建設

↓↓↓
基本構想・計画を

Q これまでも説明会アンケートなど実施しているが、庁舎建設に対する市民の認知度は高くないのか
 A 認知度は53%位である。認知度が低いのではないかとということでは今回実施します。

Q 建設地の見直しが必要ではないか。
 A 市民の利便性や経済性などから検討して現在の本庁舎敷地が最適地であると考えます。

Q 見直すといっているが、どのようなになるのか。
 A 基本構想・基本計画の内容を基本的に尊重すべきであると考えます。
 一方で、新庁舎建設について、現状は市民の関心や認知度は高まっているとはいえない状況にあります。
 そのためにも、当初予定していたスケジュールを見直し、世論の醸成を図る期間を設けます。

Q リーフレットは現行見直しを踏まえた説明資料にするのか。
 A 市民の関心や認知度が高まっているとはいえない状況にあると感じていることから、当初予定されていたスケジュールを見直し、世論の醸成を図るために行うものです。

Q リーフレットの主なコンテンツは。
 A これまでの基本構想・基本計画の概要や、これからのスケジュールなどを、さらに分かりやすく掲載します。



▲熱い議論が交わされました

年度	2018	2019	2020	2021	2022	2023
----	------	------	------	------	------	------





▲ (仮称) 始良フットボールセンター完成イメージパース図

**フットボールセンター
整備事業**
6億9756万円

整備内容は、陸上競技場の天然芝張替え、多目的広場の人工芝化、クラブハウスの改修、防球フェンス新設、夜間照明新設、観覧席の新設などです。

併用開始予定は？ フットボール センター



人工芝：平成31年3月
天然芝：平成32年4月

Q 整備後の人工芝・天然芝の維持管理はどうなるか。
A 人工芝は年間50万円から80万円。天然芝は、1200万円から2000万円弱です。

Q J3の公式試合を検討できないか。
A 陸上競技場では公式戦を行うには、外から見えないような整備観客席にも決まりがあります。
サッカー協会は、フットボールセンターとして育成するところに力を入れています。

Q フットボールセンター設置の目的は何が。
A 県サッカー協会主催の審判講習会、指導者講習会、トレーニング活動の拠点となる施設です。
各種スポーツに利用でき、市民の健康増進に活用できます。

● 始良フットボールセンター整備事業・実施計画

施設	2018年度					2019年度												2020年度						
	2018年					2019年						2020年												
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
① サッカーグラウンド (人工芝)	人工芝工事					供用開始																		
② サッカーグラウンド (夜間照明施設)	証明施設工事					供用開始																		
③ サッカーグラウンド (防球ネット)	防球ネット設置工事					供用開始																		
④ クラブハウス	クラブハウス改修					供用開始																		
⑤ 陸上競技場 (天然芝)						天然芝張替工事						天然芝養成						供用開始						

燃ゆる感動鹿兒島国体・かこしま大会

補正予算

経済波及効果測定調査

91万円

今回の委託は、公立大
学法人による短期大学の
設置が地域にもたらす経
済波及効果を測定するた
め、専門事業所に委託し
ようとするものです。



公立大学法人 短期大学

11月に経済波及効果調査の
結果を集約

Q 経済波及効果調査を行う専門事業所とはどんなところなのか。
A コンサルティングをする会社です。
Q 経済波及効果が乏しいと判断された時に計画を見直すのか。

A 短大の設置にかかる調査ではありませんでしたが、計画実施の有無を判断するものではなく、計画を見直すものでもないと考えています。

Q 学科は何か。
A 超高齢社会への対応と需要の増加が見込まれる分野である看護学科などを検討している。
Q 場所はどこか。
A 学生にとって利便性の高い場所（駅の周

辺など）を模索することとしている。
Q 定員などは何人か。
A 未定です。しかし、経済波及効果を測定するにあたり、1学年の定員数を80名とし、3学年合計240名で調査を行います。

Q 公立大学の経済波及効果を測定する専門事業所は県内にいくつあるのか。
A 県内に2、3か所です。県外は把握していません。
Q どのようなことを調査するのか。
A 地域経済の直接効果として教育研究活動による効果、教職員、学生の消費による効果、大学の活動、催しによる効果、それから施設設備に関する効果を調査分析してもらいます。また経済波及効果として、生産性の誘発効果、雇用の効果、税収の効果等も含まれます。また

お願いする事業所もつノウハウを加えて、県内もしくは市に特化した分析を行うものです。
Q 調査期間及び調査結果はいつになるのか。
A 予定では10月まで調査を行い、結果は11月頃になると考えています。
Q 市内にある看護系の専門学校への影響はないのか。
A 市長も危惧しており、該当する学校法人と細かい意見交換を行うべきと考えております。これから協議等を行っていきたいと考えています。



補正予算

可決

賛成／22名 反対／1名

私たちに身近な事業や新規事業を
ピックアップします。

こども医療費助成事業 1189万円

一部現物給付へ

平成30年10月受診分から住民税非課税世帯の未就学児を対象に、保険医療機関等の窓口の支払いをなくする現物給付方式を導入するための費用です。

主なものは、システム改修委託料、こども医療費扶助費等です。

質疑 こども医療費扶助費を、4か月分800万円と見込んでいるが、根拠を示せ。

答弁 県下どこにも実績がないため、九州管内の県の補助金の伸び率を参考に、平成29年度実績の1.6倍で算出しました。

宇都トンネル整備

8691万円

供用開始は

宇都トンネル（奥之宇都線）の覆工コンクリートの残部分、約110メートルの経費を追加しトンネル本体の完成を図るものです。

質疑 宇都トンネルの供用開始はいつか。

答弁 鹿児島市との合同施工で、始良市の計画では32年度の10月頃にはトンネルが完成する予定です。今後、取付道路の整備等、鹿児島市と協議を行ってまいります。



▲トンネル本体の工事が進みます

帖佐駅前広場整備

423万円

基本計画を策定

帖佐駅前広場の基本計画の策定委託料、検討委員会委員の報償費等の経費です。

質疑 構想を示せ。

答弁 帖佐駅前広場を整備するための基本計画の策定は、2か年で実施する計画です。

計画策定にあたっては、関係機関や地域の方々を含めた検討委員会を設置します。

歩車の分離による安全性の確保や、バス・タクシー・送迎車の駐車スペース等の適切な配置などの機能的な面のほか、景観についても検討していきたいと考えています。



▲乗降者が増加傾向にある帖佐駅

(仮称)黒川岬展望公園整備

6446万円

新たな観光地に

県の地域振興推進事業の決定を受けて、黒川岬日木山川右岸に展望公園を整備するもので、設計委託料、工事請負費、公有財産購入費等を計上したものです。

質疑 昨年に開催された「黒川岬整備に伴う意見交換会」において、左岸側の整備について要望

が出されたと聞くが、その要望はどう精査され、どのような検討がなされて、今回の計画になったのか。

答弁 左岸側に整備してほしいと要望がありました。

しかし、安全に開発していくためには、かなり費用が掛かり、難しい課題が多いということでの今回の計画になりました。



▲総務常任委員会による現地視察



▲「星空映画祭」開催予定地のさえずりの森

「星空映画祭」開催費用

250万円

観光資源の活用事業

県の地域振興推進事業の交付を受け、「野外フェスティバルあいら」として、さえずりの森で星空の映画祭を実施するための委託料です。

質疑 星空映画祭の実行委員会はどのような組織を考えているのか。

答弁 組織については、商工会・観光協会・特産品協会・イオン等に、実行委員会に入っていただけだと考えております。実際のところは、専門の企業に委託することになると思います。

ふるさとバス路線延長

250万円

地域住民の利便性向上に

現在のふるさとバス春花線（帖佐駅～市役所～春花）の路線を春花からくすくす館まで延長するための委託料です。

質疑 路線を延長するのに伴い、ふるさとバスの本数や時刻表の見直しはなかったのか。

答弁 ふるさとバスについては、春花線だけでなく木津志線も一つのバスでまかなっている状況です。

両路線一日三往復という現況を変更せず運行を開始します。利用状況や始まってからの利用者の声が出てくれば、その時点で見直しを考えていきます。



▲帖佐駅～春花～くすくす館が結ばれます

査特別委員会

議会の役割の中で予算を審査するのは特に大きな役割の1つと言えます。

「始良市のために、始良市民のために、始良市民の軸に、十分な審議時間を確保し、時には何度も執行部の説明を求めたり、現地調査や市民のヒアリングを行い、予算案を多方面から見つめ、結論を導き出します。」

ただ、その行程が市民のみなさんに見えづらいのも事実です。そこで今回は本市議会における予算審査の仕組みをご紹介します。今回の補正予算がどのようにして認められてきたのかを説明していきます。

議会における予算審査も議会改革が進む中で一歩ずつではありますが、進化してきています。

最も大きな進化が「予算審査特別委員会」の設置で、これにより予算審査はより深く、より広範にわたって議論がなされるようになりました。

これまでの予算審査は、「予算の上程」↓「常任委員会への付託」↓「常任委員会での審査」↓「本会議の委員長報告」↓「質疑」↓「討論」↓「採決」という流れでした。



これは委員会中心主義を採る議会ではスタンダードなものでした。

しかし、付託されているため、委員会での審査内容や結果が重視されがちでもありました。

このため、委員長報告において、「こんな議論はなかったか」と質疑があっても、「ありませんでした」という答弁で最終的な審査が終わってしまう場面が多くみられました。

審査の進化

このような言わば予算審査の消化不良状態を解消すべく、現在では予算審査特別委員会を設置してより詳細な審査を行うようになっていきます。

特別委員会は、総務・文教厚生・産業建設の常任委員会をベースにした3つの班会で組織され、常任委員長は班長になります。

審査の流れは、①予算の上程、②予算審査特別委員会の設置(付託)、③班会への付託、④班会

での審査、⑤特別委員会での班長報告、⑥質疑応答、⑦議員間討議、⑧討論、⑨採決、⑩本会議での特別委員長報告、⑪質疑・討論、⑫採決となります。

⑤～⑨までは予算審査特別委員会の「全体会」と呼ばれ、ここでは質疑の時間や回数も制限されないために、様々な角度から質問や意見が交わされています。

時には班長報告の内容やその後の質疑応答に満足できないこともあり、今一度執行部に説明・質

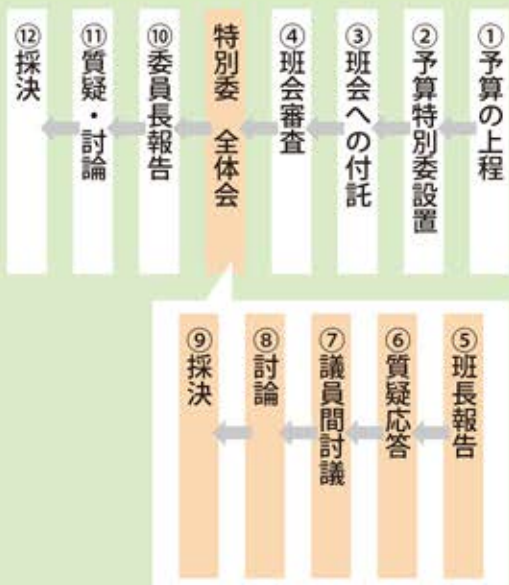
疑を求める場合もあります。実際、今回も産業建設班の報告内容の中で、宇都トンネル分割発注について全体会での新たな疑義が生じたことから、全体会質疑を行い、審査を深めました。

審査の結果

結果としては予算審査特別委員会では賛成多数となり、本会議において特別委員長が審査の経過と結果を報告しましたが、本会議において1名の反対討論がありました。

しかし、最終的には本会議においても補正予算案は賛成多数で承認されました。

そこで決まった予算の具体的内容が前頁までにあるものです。次頁には各班会の中で議論された議員間討議の内容をご紹介します。議員間討議の中では何をもちょうの予算を判断したか、今後の課題や要望などを整理しています。



マチ 始良市のために ヒト 始良市民のために

審査の進化 予算審

産業建設班

土木・農業など



4つの論点について議員間討議を行い、以下の確認、指摘を行いました。

論点①：林地台帳管理システム

→森林所有者や所在地の確認がスムーズになる。山林整備や管理に有効活用することを要望する。

論点②：スマートICの仮設道路

→ネクソコが市道に施設を整備するため仮設道路の必要があることと、供用開始を早くしたいと交渉していることが確認できた。

論点③：フットボールセンターの効果は

→サッカー以外でも多面的に有効活用できることが確認できたが、有料試合開催等も検討すべきである。

論点④：宇都トンネル分割発注

→分割発注は今後、慎重に検討してから行うべきである。

文教厚生班

教育・福祉など



教育部がモデル事業を3件も受けようとするなど積極性が目立つ予算であるという予算の特徴を論点として自由討議を行いました。

〈自由討議〉

- モデル事業を同時期に3件も受けるといのは、国や県の高い評価と期待が伺える
- 国体を控える中でモデル事業に手を挙げた教育部に積極性が強く感じられる 等々

〈班会としての要望〉

教育部が示した先取的、積極的な取組を他の部門でも広げていくことは行政の意識改革ばかりでなく、市民福祉の向上にもつながる。議会としても支援、協力していくべきである。

総務班

企画・商工観光など



①龍門司坂駐車場の仮設トイレ設置、②野外フェスティバル、③黒川岬整備に伴う意見交換会での意見との整合性の3つの論点に留意して審査し以下の提言をしました。

〈提言〉

①龍門司坂駐車場の仮設トイレ設置
→龍門滝温泉の改修に併せ、龍門滝下展望トイレや周辺施設のトイレ整備も検討すべきである。

②野外フェスティバル

→実行委員会が十分機能するよう早期に取組を開始すべきである。

③黒川岬整備に伴う～

→土地開発基金運用の内容を議会にも報告すべきである。

委員長報告

全体会では、「始良市（マチ）のために、始良市民（ヒト）のために」という視点から更に多角的な質疑と活発な議論が交わされました。

各班的総括として、以下の内容を本会議で報告しました。

総務班

補助事業採択による単年度事業での実行委員会形式と委託を通し、市民参加と参画のあり方を検討すべき

文教厚生班

受託したモデル事業が行政の意識改革と市民福祉の向上につながり、議会も支援と協力をすべき

産業建設班

隣接市との共同事業は、お互いの信頼関係を丁寧に構築する中で、確実に事業推進に努めること

予算審査特別委員会が設置されて5年目。進化してきた審査の経過を、丁寧に報告しながら、議会の「見える化」を図ってまいります。

議決が必要な契約及び財産の取得と処分

宇都トンネル本体
工事請負契約

13m放水塔付
消防ポンプ車購入

須崎地区公共用地
の売却

●契約

(予定価格1億5千万円
以上の工事の請負)

●財産の取得

(予定価格2千万円以上
の買入れ)

●財産の処分

(土地5000.0㎡以上)

契約金額

4億3699万273

落札価格

9007万2000円

売却価格

8709万5800円

2円

入札方法

一般競争入札(電子入札)

指名競争入札

鹿兒島森田ポンプ株式会社

売却の相手先

司(つかさ)企業株式会社

落札者

南生・第一特定建設工事共同企業体

会社

南九州地域の物流拠点開設のために取得。

工期

平成31年1月29日

トンネル総延長272

mのうち、工事の進捗を

早めるために鹿兒島市と

分割した、始良工区13

9mの掘削工事等の工事

請負契約です。

今後の予定として、31

年度に排水工と舗装工、

32年度に電気設備工を

施工予定であり、32年度

中の竣工を目指して、

鹿兒島市と協議を進めています。

可決
賛成23名
反対0名

可決
賛成23名
反対0名

可決
賛成21名
反対2名



▲高層建築物に対応できる消防ポンプ車

市道の廃止と認定

可決
賛成23名
反対0名

南国松原5号線 (363m)

びしゃもん
毘沙門線 (287m)

市道「南国松原5号線」及び「毘沙門線」の2路線を、終点側の延長により、既存の路線をいっただん廃止し、延長後の路線を新たに認定しました。

●毘沙門線
廃止前延長 80m
認定後延長 287m

街路事業で整備します。事業予定期間は5年から7年。道路隣接地に、大手流通業者が進出予定であり、加治木港町地区の新しい動脈として早期整備が望まれます。

●南国松原5号線
廃止前延長 191m
認定後延長 363m
現在、都市計画道路「松原線」として整備中であり、平成30年度末までに供用開始予定。



▲加治木港町地区の新動脈「朝日町通線」

可決
賛成19名
反対4名

マイナンバー

一部改正で利用拡大

議案第48号 個人番号の利用及び特定個人情報情報の提供に関する条例の一部を改正する条例

子ども医療費、ひとり親家庭医療費、重度心身障害者医療費の3つの助成事業及び単独住宅・定住促進住宅・地域活性化住宅の3つの住宅管理事業について、個人番号を利用した事務処理や情報連携を行うための条例改正です。

↓ 総務常任委員会で審議

転入転出時の手続きの簡素化及び負担軽減が図られ、住民サービス向上につながり、行政側のスムーズな事務処理も可能と判断しました。

始良市マイナンバーカード交付率9.4%（平成29年度末）であると確認できました。

個人情報漏洩の不安の声もありましたが、マイナンバー照会はセキュリティが厳しいということが確認できました。

↓ 総務常任委員会で可決

本会議にて委員長報告の後、質疑、討論に入りました。反対討論の主なものは個人情報漏洩でした。討論の後、賛成多数で可決されました。

可決
賛成23名
反対0名

子ども医療費

窓口無料化の一步前進

(住民税非課税世帯の未就学児に限る)

議案第49号 子ども医療費助成に関する条例の一部を改正する条例

10月1日から住民税非課税世帯の未就学児を対象として、医療機関での窓口無料化を実施するための条例改正です。

↓ 文教厚生常任委員会で審議

窓口無料化で経済的な理由から医療機関での受診控えによる症状の重篤化、経済的負担を軽減に繋がることが確認できました。

課税世帯が、突然の失業や離婚などにより収入の変化があった場合、世帯状況、課税状況確認の上、非課税世帯であれば、申請の翌月から対象となることがわかりました。

↓ 文教厚生常任委員会で可決

本会議にて委員長報告の後、全会一致で可決されました。今回、対象となる住民税非課税世帯の未就学児の3分の2は、ひとり親家庭世帯であることも確認できました。議会としては、更なる子育て支援の充実を求めています。

請願の趣旨
子どもたちの豊かな学びを実現するためには、教材研究や授業準備の時間を十分に確保することが不可欠です。学校現場では教職員の長時間労働は正が必要であり、そのため定数改善が欠かせません。

地方財政を圧迫しています。また、教育の機会均等の観点から、複式学級の解消は重要な課題です。
賛成討論 有川 洋美
子どもたちの教育のためにも予算拡充が必要です。

教職員の定数改善と義務教育国庫負担制度2分の1復元、複式学級解消をはかるための、2019年度政府予算に係る意見書採択の要請について

請願者 上村 豊茂
紹介議員 本村 良治



▲十分な予算確保で設備の充実を

請願

採択

公約 前回と変わった理由

市長/ゼロに戻して整理



和田 里志



和田 前回と今回の選挙公約が変わったのはなぜか。
市長 四年前は落選したので公約はゼロに戻して、自分の考えを整理した。今回は多くのミニ集会や辻立ちで様々な方との議論を踏まえて公約を作成した。
夢プランは財源等を抜きにして、始良市にこう

ゆもと よしひろの創造力
最高の始良市まちづくり
県内一 生まれた街 始良市 だから みんなを一緒に もっとやれる! もっといける!

消えたお約束(夢プラン)

- 夢プラン① 始良市内を経由するモノレールで、中央駅と空港を結ぶ!
- 夢プラン③ R10(国道10号)にサイクリングロードを!
- 夢プラン⑤ 大学駅伝競走・国際マラソン大会を始良市で!
- 夢プラン⑥ 子どもたちの夢! 山間部にアスレチックパークの建設を!

いうのがあれば、何年かかっても出来たらいいなという感覚であった。今回掲げなかった理由は、紙面の制約もあるが、この4年間でもっと切実な問題や始良市がかかげる夢が分かってきたからである。

短大創設について

市長/教育と人材育成

和田 公立大学法人の短大創設が主軸の理由は市長 短期大学の設置により、高等教育の機会増

や人材育成の場の醸成、地域活性化など複合的な効果が期待できると考える。

を問う 一般質問

こども館

どのように進めるか

市長/先進事例を研修し検討



湯川 逸郎



湯川 市長選挙で、子育てしやすい環境づくりのために、全天候型こども館の設立を、マネフェストに掲げている。どのように進めていく考えか。
市長 今後、鹿児島市の「りぼんかん」をモデルとするなど、先進事例を

研修しながら具体的な施設内容を、包括的な取組として検討していく。

生活道路等の整備

市長/簡易なものは職員で

湯川 市道や歩道の悪い箇所・側溝ふたについても危険な箇所が非常に多く見られる。最も身近な生活道路、側溝ふたの整備などについて、市内を調査し、早急に対策を講じるべきと

考えるがどうか。
市長 市道の危険個所の維持補修については、簡易なものは、職員が実施するほか、業者への業務委託により行っているところである。
多額の予算を伴う全面的な舗装や改良などについては、当該道路の交通量・緊急性などを考慮しながら事業化に取り組んでいる。

その他の質問

○総合運動公園の多目的広場の活用
○並木学院高等学校始良学習支援センター



▲すこやか子育て交流館(りぼんかん)

庁舎建設

見直しはどうか

市長／スケジュールを見直す



田口 幸一



その他の質問

○総合運動公園陸上競技場の全天候型

○始良市水道における包括的民間委託

○公立短期大学の設置

田口 市長は複合新庁舎建設については、全面的に見直すと言っているが、どのようになるのか。

市長 複合新庁舎建設検討委員会が、市の将来を見据えた活発な議論の末、まとめられた答申が反映されている基本構想・基本計画の内容を基本的に尊重すべきであると考えている。

しかしながら新庁舎の建設について、現状においては、市民の関心や認識は高まっているとはいえない状況にある。

そのためにも、当初予定していたスケジュールを見直し、世論の醸成を図る期間を設けさせていただきます。



▲どうなる新庁舎建設

市政

21人が

働き方改革

超過勤務の緩和策

教育長／夏季休業中に閉庁日



本村 良治



本村 現在、学校の超過勤務緩和に向けてどのような取り組みを行っているか。

具体的な取り組みの説明を求める。

教育長 本年度から県教育委員会の業務改善の趣旨に基づき教職員の健康の保持・増進を目的に、小中学校の夏季休業中3日間程度の休業日を設け、全体の勤務時間の短縮を図る取り組みを計画している。



▲信号機の設置の要望がある交差点

通学路の安全確保
教育長／県警へ設置に向けて
上申

本村 松原なぎさ小近くの通学路交差点の信号機設置をどう考えているか。

教育長 開校にあたって保護者や地域の方々から要望が出された。

合同点検をした結果、信号機を設置したほうが望ましいと始良警察署を通じて、県警へ設置について上申がなされているところである。

猿対策

整備を図れ

市長／集落に寄せ付けない対策



堂森 忠夫



堂森 猿が雑木等から屋根に登る状態だ。自治会周辺の立木等を、伐採する事業化に取組むなど、猿対策の整備を図れないか。

市長 立木を伐採しても、雨樋などを伝わり屋根に登ると思うので、集落に寄せつけない根本的な対策が重要であると考え。今後とも集落ぐるみによる取組と、効果的な捕獲による組合せを継続するとともに、全国の先進事例等も参考にしながら、最適な方法を総合的に研究していきたい。

短大の看護科定数
市長／3学年で計240名

堂森 市長公約に、公立短大の看護科等を創設し、若者育成に努めると表明されたが、学年定数は何名か。

少子化の現状から判断すると、外国からの学生募集が可能な改善に努めるなど、グローバル化を図らないと運営は厳しいと思うがどうか。
市長 1学年80名の3学年で計240名を考えています。
グローバル的に視野を広げることも検討する。

その他の質問
○世代間の交流と育成



▲猿対策として集落の雑木伐採の声が多い

城山公園 一帯の整備と観光地化

市長／方針案を検討



国生 卓



国生 現在、蒲生町城山公園一帯は、ほぼ荒廃状態である。今後、整備と観光地化の計画はあるか。

市長 過去に整備された二ノ丸跡展望台や桜公園、さらには、本丸や大手門、岩城などの山城遺構を含む、蒲生城一帯の利活用を見据えて、観光地化としての方針案を検討して

いく。

消防署員の救助服
市長／全体予算の範囲内で予備品化

国生 救助訓練はハードな訓練であるため、破れる確率が高い。予備品を予算化して貸与する考えはないか。
市長 全体予算を見極めながら、その範囲内で救助服の予備品について検討したい。

その他の質問
○スターランドAIRAの外壁塗装



▲桜公園入口（蒲生町城山）

新庁舎 建設地の見直し

市長／現本庁舎敷地が最適



吉村 賢一



吉村 新庁舎は、600人の職員を想定すると延床面積はいくらか。
また総事業費は、駐車場・解体・周辺道路整備仮庁舎を含めいくらか。
市長 本庁舎の規模は、他所事例から12000平方メートルを想定している。
今後、消費税の改正や建設工事諸経費の上昇を



▲敷地の広い出水市役所新庁舎

考慮して、本庁舎は60億円を見込むが、付帯施設は基本設計の中で検討していく。
吉村 現庁舎の敷地では狭く、建設地の見直しが必要ではないか。
市長 市民の利便性や経済性など6候補地から検討して、現在の本庁舎敷地が最適地である。
吉村 現庁舎を補強長寿命化し、その間じっくり考えられないか。
市長 合併推進債の活用期限の2023年度までに竣工したい。

加治木駅北口の検討 市長／地元と協議したい

吉村 高校生や駅裏の住民の利便を考えると、北口を検討する必要があると思うがどうか。
市長 今後、駅の北口を含め、加治木駅周辺のまちづくりについて地元や関係団体とも協議していきたい。

その他の質問 ○公立短期大学設立計画

市長 全天候型の走路レーンはトラック外部周りに、幅1・25メートル、延長500メートルのゴムチップ舗装でジョギングなどに利用できるコースを1レーン設ける計画である。
トラックは真砂土に入れ替え、走路レーンのライン設置及び跳躍、投てき等のフィールド競技の施設改修も行う。

総合運動公園

各種大会に活用できるように

市長／全天候型の走路レーンなどを改修



萩原 哲郎



萩原 全天候型の走路レーン等の設置を含め、各種大会に活用できるように改善できないか。

県道の改善

市長／県に要望していく

萩原 県道十三谷重富線の寺師から、県道堂山宮之城線の木場までの区間の、道路改善と今後の工事計画を示せ。

市長 県は、若宮神社付近から北山小学校までの区間、およそ700メートル、県民の森の入り口付近およそ700メートルの、拡幅改良及び離合場所5か所やガードレール等の施工を行った。
市は引き続き、計画的な道路改善工事等について県に要望していく。

その他の質問

○稲荷橋に防犯灯・歩道橋設置
○鹿児島マラソンの市民



▲天然芝張り替え等改修予定の陸上競技場

家庭教育

切れ目のない推進

教育長／保健福祉部と連携を図る



岩下陽太郎



岩下 家庭教育の切れ目のない推進について、最終目標をどのように定め、どのような取組を実施するのか。

教育長 本市の教育目標である「自立」に向け、目指す人間像として「自立した人間」「社会づくりに貢献できる人間」を掲げ、取組を推進する。市民の方々に対しては、

子どもたちが安全で健やかに育つ環境づくりや、ふるさとを大切に思う気持ち育てていくことを求める。

企業に対しては、保護者が仕事と子育てを両立しやすい職場環境を整えることや職場体験学習などを通じたキャリア教育への協力を求めていく。

岩下 子育て手帳は4種類あるが、乳幼児期（0～2歳）がない理由は。今後、その年代へのアプローチをどうするのか。



▲年齢に沿った子育て手帳

教育長 教育委員会が実施しているため、学歴に基づき事業を行っていることが原因である。

しかし、改善すべきだと考えるので、保健福祉部と一体となり、教育の出発点である0～2歳までに親子の絆の形成を図るための施策を考えていく。

龍門司坂

トイレの整備を急げ

市長／最善の対応策を導き出して
いきたい



東馬場 弘



東馬場 大河ドラマ「西郷どん」で全国に知名度が高くなってきている龍門司坂は、市内外からバス等で多くの観光客が訪れている。

この場所には最近になって仮設トイレを緊急に設置されたが、観光客のリピーターを願うなら、本格的なトイレ整備はできないか方向性を問う。
市長 当分の間、仮設トイレの設置と清掃管理人の配置は継続する予定である。

トイレの新設については、設置場所の選定や周辺住宅における生活環境の確保、龍門滝温泉施設の利活用など、課題がいくつか残されている。

今後、ご意見やご提言をいただきながら、年次の新設計画を見据えた最善なる対応策を導き出していきたいと考えている。



▲龍門司坂駐車場に本格的トイレを

その他の質問
○黒川岬展望公園整備
○ふるさと定住促進事業

施政方針

バリアフリー化と障がい児者への支援

市長／支援体制整備に務める



有川 洋美



安定ヨウ素剤事前配布 市長／事前配布申請なし

有川 安定ヨウ素剤の事前配布状況を問う。

市長 本年4月26日、本

市におけるUPZ圏内（原発より30キロ）の蒲生町松生地区の全世帯に対しパンフレットを配布したが、事前配布申請はなかった。
有川 始良市独自で安定ヨウ素剤を配布する計画はあるのか。
市長 安定ヨウ素剤についての説明などを検討していきたい。

有川 JR駅等を含め、まちづくりのバリアフリー化について問う。
市長 駅構内を含めバリアフリー化を進める。
券売機の点字は、特に無人駅など遅れているのでJRに要請していく。
有川 視覚障害者用信号機は市内に何基あるか。
市長 音の出る視覚障害者用信号機は18基ある。
有川 子育て支援においての、障がいのある子ども達への支援について問う。
市長 ワンストップの相談支援体制の整備に務める。



▲原発事故時の初期被曝から体を守る安定ヨウ素剤

林政の課題

伐採放置林の対応

市長／再造林の推進を図る



湯之原 一郎



湯之原 皆伐林が、再造林されずにそのまま放置された山林跡地が少なくない。

伐採放置林への対応を問う。

市長 伐採届受理時に、再造林の協力依頼を行っている。

本市の再造林率は、2016年度が21%と年々増加しているが、県の平



▲計画的な伐採と再造林が進む先進地の宮崎県

均33%よりもまだ低い。今後とも、「未来につながる森林づくり推進事業」を実施し、再造林の推進を図る。

河川の活用策

市長／魚道の整備は県に要望

湯之原 魚道が洪水等の転石などにより損傷し、アユ等の遡上を妨げている。

河川の活用策として魚道の整備は、計画的に実施できるか。

市長 被災を受けた魚道

は、県に改修をお願いしている。
新しい堰の建設による魚道の設置を県は計画しているので、地域の声を聞かせて欲しい。

その他の質問

○中山間地域の情報通信手段確保策

移動手段

予約型 乗合タクシーの運行

市長／公共交通網計画による



竹下 日出志



竹下 自家用車や運転免許証を持たない高齢者の買物や、通院等の移動手段を確保する必要がある。予約型乗合タクシーを運行する考えはないか。

市長 本年2月から3月にかけて、新留地区で試験運行を実施した。これを受けて、本年10月から本格実施する。地域公共交通網形成計画により、地域の方々や利用者、交通事業者と協議し利用拡大する。

認知症徘徊感知機器の周知

市長／徘徊模擬訓練で活用

竹下 認知症の高齢者が屋外へ出かけようとした際、感知して家族などに



▲予約型乗合タクシーの試験運行出発式（蒲生）

通報する認知症老人徘徊感知機器の周知と活用する考えはないか。

市長 徘徊感知機器は、昨年松原なぎさ校区コミ

- J R 駅前の再開発と活性化
- 子育て支援

ユニティ協議会が徘徊模擬訓練で活用した実例がある。今後、徘徊感知機器の効果的な活用を図る。

その他の質問

防災 通学路等の総点検に地域の力を

市長／校区まちづくり補助金の活用



新福 愛子



新福 大阪府北部地震で、通学路のブロック塀倒壊による死亡事故を受けて、教育委員会での協議や検討を問う。

教育長 発生翌日に、全小・中学校と公立幼稚園の敷地内を調査し、危険性の高い2か所について補修工事を実施した。今後、必要に応じた補修と早急な通学路の点検



▲公立幼稚園のブロック塀調査

に努める。

新福 公共施設等の点検状況を問う。

また、通学路や生活道路等の総点検に地域の力を生かすべきではないか。

市長 6月27日に点検を実施した。

現在、疑義がある92件について点検作業を行っている。

校区コミュニティの点検については今年度から開始した校区まちづくり補助金を活用し、積極的な点検や見守り等に活用していただきたい。

ロタウイルスワクチン接種費用の助成

市長／検討していく

新福 5歳までにほぼ全員が感染し、胃腸炎を発症するロタウイルス。ワクチン接種費用の助成を検討できないか。

市長 県内7市町村が公費助成を実施している。本市でも、前向きに検討していく。

その他の質問

○市営住宅における連帯保証人制度

通学路整備

信号機設置と交差点改良

市長／県警本部の判断に



峯下 洋



峯下 松原なぎさ小学校通学路の交差点への信号機設置と松原十日町線の五差路交差点改良はどのようなになっているか。
市長 信号機設置は、始良警察署から、県警本部交通規制課に対し、平成28年から毎年上申頂いており、予算や緊急性などを十分考慮した上で判断がなされることである。



▲信号機設置が待たれる交差点

る。
五差路交差点は、県公安委員会と協議を終えていて、今後土地所有者等に説明し、ご理解を得た後、詳細設計を行いたい。

避難所の環境対策は万全か
市長／体調管理に努めたい

市長 避難所指定の施設は、電力の確保や暑さ対策など万全か。
市長 避難所は原則として空調設備が整い、電力が確保されている施設を選定し、開設している。

災害協定への協力要請、保健師の派遣等で避難者の体調管理に努めたいと考えている。

その他の質問

- 選挙の総括と今後の対応
- 施政方針4つのお約束
- スポーツ施設整備

自治会放送

放送施設は必要不可欠

市長／モデル地区で方向性を模索



湯元 秀誠



湯元 自治会放送施設が、今見直されている。
蒲生地区などでは自治会放送施設は整備されていない。
市の普及率はどれくらいか。

市長 施設のある自治会は40自治会、設置率16・2%、対象世帯は9600戸の26・4%である。
地域単位の情報伝達手段に苦慮されている状態は改善すべきである。

湯元 校区コミュニティ協議会は行政主導で設置され、放送施設は必要不可欠なものである。
行政負担で整備すべきではないか。
市長 地域単位の放送施設を整備し、防災行政無

線との共有を図ることは3本目の伝達手段となる。モデル地区を選定し、検証を行うなどして、方向性を模索したいと考える。

水道業務の包括的民間委託について
市長／必要なサービスを安定的に
湯元 水道業務の包括的民間委託について、国の指針に今追従すべきか。
市長 施設更新需要の増加等で、今後経営が厳しくなる。
サービスを安定的に提供していくため窓口業務を一括民間委託するものである。



▲各家庭で日常の地区情報を細かく受信できるエアートーク

水道事業

経営戦略と委託選定

市長／管工事組合へ説明



上村 親



上村 公営企業の中長期的な経営戦略を示せ。
市長 公営企業が安定的に事業を継続する経営戦略の水道ビジョンを来年度中に策定する。
上村 県内3市1町が業務委託をしているが、経営戦略から導入の期間はどうか。
市長 導入している事業体でも経営戦略を策定し



▲窓口業務等の委託が検討されている水道事業部

ていないところもある。策定している事業体は2年後までに導入している。
上村 委託選定から決定まで短期間である。始末市管工事組合への説明協議等はされたのか。
市長 窓口業務等委託は組合に直接影響がないことから、内容等の説明を確定した公募の時期に予定していた。

しかし疑問や不安の声があり、6月14日に担当職員が3地区の管工事組合へ説明し内容を確認していた。

里道整備

萩原線から西反土線

市長／補助金交付要綱に基づき整備



堀 広子



堀 萩原線から北へ約43メートルの里道は、危険な箇所があり緊急車両や災害の時、通行に影響がある。
安全な道路に整備できないか。

市長 生活道路整備事業補助金交付要綱に基づき、地域整備を図っている。
堀 地域での整備が困難で改修できない場合や災害など、里道管理に必要な条例化の検討はできないか。
市長 先進地の事例を研究していきたい。

市営温水プール設置
市長／優先順位を検討

堀 温水プールの必要性和プール設置の今後の計画をどのように考えているか。

市長 必要性は認識しているが、財政状況を勘案し、優先順位を検討する。
堀 焼却熱を再利用したプール設置は、電力量やコスト削減につながる。ことから検討できないか。
市長 地熱、温水の活用も含め検討していきたい。

その他の質問
○JR減便対策



▲困難な里道整備は行政で

庁舎建設

何を見直すのか

市長／日程を見直す



小山田 邦弘



小山田 立地適正化計画と複合新庁舎建設事業との関係性を示せ。

市長 複合新庁舎建設は、立地適正化計画のまちづくりの方向性に沿って事業を進めたい。

小山田 庁舎建設の見直しは何を見直すのか。

市長 答申案に基づく基本構想、基本計画は尊重する。これを広く知ってもらうため日程を見直す。小山田 短大やグラウンドゴルフ場、こども館等は、新しい都市機能であり、立地適正化計画に反映すべきではないか。

市長 これから計画の中で都市機能の配置を検討していくので今後、反映可能と考える。

小山田 答申案策定時は想定されていたなかった施設をつくと約束されている。それは立地適正化計画にも反映すべきで、それに沿うなら庁舎建設も見直しが必要である。

市長 庁舎の建て直し、本庁方式、場所の選定などは基本構想や基本計画で示したことをそのまま進めるが、都市機能の議論はこれからもある。



▲このまちのかたちはどう変わるのか？

帖佐駅 駅舎の整備を 市長／JRへ要望する



犬伏 浩幸



犬伏 駅舎の整備について検討すべきと考えるが見解を問う。

市長 駅舎はJRの財産であるため、その整備を市独自でおこなうことは困難であると思われる。今後、JRに要望したいと考えている。

なお、帖佐駅の1日あたりの乗降者数は、バリアフリー化の基準値である。



▲にぎわいや交流の創出を

る3000人を超えることが予測されるので今後ともJRとの協議を進める。

犬伏 駅から大型商業施設までの道路整備・歩道整備等について今後の計画を示せ。

市長 県においては、旧国道10号から現在の国道10号までの区間について、歩道の高質化などのリニューアルに取り組みとのことである。

市としては本年度から駅前広場の基本計画策定に着手することとしている。

なお、帖佐駅から旧国道10号までの区間の歩道整備については引き続き県と協議する考えである。

その他の質問
○海を活かした観光振興

市長選 今後の対応

選管長／公選法に基づき適正な執行



谷口 義文



谷口 南日本新聞の記事の中に、「相手を中傷するデマが飛び、後味の悪さが残った」とあった。相手を中傷する様々なデマにより、市民が正しい認識と判断ができた選挙であったか甚だ疑問に思う。

選挙管理委員会の今後の対応を問う。

選挙管理委員長 立候補予定者説明会の中で選挙運動に係る注意事項や禁止行為について、始良警察署などからも強く伝えられた。有権者の方々から寄せられた様々な情報については、関係法令等を確認するとともに、県選挙管理委員会の助言を受けて、現地調査が事実確認を行った上で、始良警察署と連携を図りながら、今後も適正な執行に努める。



▲出所不明の「四選阻止」のノボリ旗

議場コンサート「湯元施政」スタート！

第2回定例会（6月議会）では、加音オーケストラによる弦楽四重奏「議場コンサート」で幕を明けました。始良市民歌の演奏にはじまり、クラシックや西郷どんメインテーマなどが披露され、厳かな議場も一時の和やかな雰囲気になりました。



改選後の定例会初日とあってその後の市長による施政方針演説は、これまでで最高の傍聴者数（67名）となり、議場に入りきらず議員控室でモニターによる傍聴の様子も見られました。新市長・議員に対する熱い期待の表れが感じられました。



固定資産評価委員
田中 昌之 氏
(蒲生町 65歳)



固定資産評価委員
室屋 和孝 氏
(加治木町 63歳)



代表監査委員
川崎 栄寿 氏
(東餅田 67歳)



副市長
前畠 実 氏
(東餅田 50歳)

今定例会においては、副市長他3名の選任議案が提出され、いずれも賛成多数で承認されました。

賛成多数で
同意

追跡

あん質問な いけんなった



追跡②

議会の災害対応

市民のみなさんの声

地震ばかりでなく、毎年のように大雨による災害が出ていますが、議会では大規模災害時に機能不全に陥らないように、どのような対策を用意しているのでしょうか。



災害対応の要綱

被災地自治体を訪ね、そこで得た知見をもとに、今年3月に災害時における議会、議員がとるべき行動規範を示した要綱とSNSによる非常時連絡網を確立しています。



現在の要綱は、災害直後の安否確認やまずは一市民として地域の活動をするなど初動期の規範を示したものです。

今後は大災害時の復旧復興に向け議会が継続して機能するための計画（BCP）の策定を速やかに進めていきます



追跡①

子ども医療費助成

これまでの経緯

多くの議員から一般質問で要望が出され、平成23年1月から子ども医療費助成事業がはじまりました。

さらに要望が続き、平成28年11月には対象を中学生まで拡大しました。



議会でのさらなる要望

質問：自己負担額を後で助成するのでなく、窓口での支払いをしなくて済むようにできないか。

答弁：本市だけでなく、県との連動が必要となる。



県の動きに連動し、平成30年10月から住民税非課税世帯の未就学児を対象に窓口での支払いをなくす現物給付方式を導入します。議会では今後も対象枠拡大を求めていきます。



おめでとう
ございました。

感謝状

湯之原 一郎 議員

湯川 逸郎 議員

田口 幸一 議員

谷口 義文 議員

東馬場 弘 議員

法元 隆男 前議員

永年勤続表彰

贈呈されました。

謝状（評議員として）も

また前議長に対する感

謝状（以下5名です）

今回対象になった議員

勤続も加算（ \uparrow ）されます。

9年目ですが、合併前の

の議員永年勤続表彰（10

年以上）は、本市誕生後

の議員永年勤続表彰から

の議員永年勤続表彰と

感謝状の贈呈



男性 (70代)

公立短期大学設立については市民の声を聴き財政を圧迫しない方針をお願いしたい。子育て支援については先進地を視察し、早く実現されることを希望します。障がい者の支援策は多岐にわたる。就職支援策も併せて考えてほしい。



女性 (60代)

まず傍聴者の多さにびっくりしました。始良市議会の21人の質問者がいらっしゃることについても、優れていると思います。勉強になりました。このくらいの多くの質問者があることで、市執行部にとっても刺激になり、活気がある行政議会となり、市民の関心も高まり、素晴らしいことです。



女性 (70代)

議員の質問や市長、その他の方の答弁などお聞きして、素晴らしい議会だと思えました。日頃気づかなかったことが議題となっており、色々と考えさせられました。どんな市長さん、議員さんを選ぶか、とても大切なことだと実感しました。

傍聴席から



女性 (70代)

新庁舎の件で全戸にリーフレットを配布予定とのことでは是非お願いします。市民講座(説明会等)も希望します。



男性 (60代)

インターネットで配信されている動画ではカメラで撮影された枠内でしか見ることはできないが、傍聴席では話をされている方以外の方々の動きがわかり、雰囲気をつかむことができよかった。



女性 (70代)

友人の誘いで初めて参加しました。今までは、議会だよりをただ棒読みするだけでした。実際に傍聴してみることで大変勉強になり、参加して良かったと思えました。今後も時間を見つけて参加したいと思います。会場の雰囲気もよくわかりました。



男性 (80代)

言葉だけの対策・検討・善処が多く具体的にどのように考えている、各関係機関に訴えているとの回答がなく誠意が感じられない。上べだけの逃げ口上ではなく聞く人が納得するようお願いしたい。

※このほかにも多くの貴重なご意見を頂きました。今後の議会活動や議会運営の参考にさせていただきます。

傍聴席へどうぞ 車いす席もあります

第3回定例会は、
9月4日開会予定。

編集後記

改選により新市長・議員が誕生し、委員会構成も変わり、新しい広報班の発行になります。今回から特に「議会の見える化」を意識した紙面づくりを心掛け、本会議のみならず委員会でも議論されたこと、論点となったこと等も紹介することになりました。それらの中では、その一部しか掲載できなかった傍聴の様子や議員活動の一端を、少しでもお知らせ出来たらと思います。これからの議会だよりも発行と情報の提供に努めてまいります。

編集・発行責任者
和 田 里 志

議長
森 川 和 美

広報広聴特別委員会
(広報班)

班 長 峯 下 洋
副 班 長 和 田 里 志
委 員 新 福 愛 子
竹 下 日 出 志
湯 之 原 一 郎
岩 下 陽 太 郎
松 元 卓 也
湯 元 秀 誠
小 山 田 邦 弘
萩 原 哲 郎
有 川 洋 美
犬 伏 浩 幸